

主任介護支援専門員更新研修指導事例提出について

「指導事例」とは、他の介護支援専門員に対し、相談・指導を行った事例が対象です。

指導の視点（内容）が **7 類型を網羅した事例を 3 事例以上提出**してください。

その際、類型から 2 つ以上選択をしてください。

※類型とは、下記の【研修で使用する類型】に記載の A～G を指します。

【研修で使用する類型】

（注）キーワードはあくまでも参考であり、記載内容だけに限定されるものではありません。

類型	科目名	指導内容のキーワード例
A	脳血管疾患のある方のケアマネジメント	血圧や疾病の管理の支援、服薬管理の支援、生活習慣の改善 心身機能の回復・維持、心理的回復の支援、活動と参加に関わる能力の維持・改善、リスク管理、血圧や疾病の自己管理の支援、服薬の自己管理、生活習慣の維持、心身機能の見直しとさらなる回復・維持、心理的回復の支援、活動と参加に関わる能力の維持・向上、リスク管理 等
B	認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	初期診断に関する対応・地域ネットワーク構築・認知症の理解・環境変化における対応・行動障がいへの取組・認知症治療に関する事・精神疾患における医学的・心理的な状況 等
C	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	転倒予防、骨粗しょう症の予防、歩行の獲得、生活機能の回復、社会参加の回復、介護給付サービスの終結に向けた理解の促進（自助・互助への移行）、治療方針の確認と共有、動作や安静の指示、治療方針と動作や安静の指示を踏まえ生活不活発とならないよう適度な活動量の維持のための具体的な支援方針の共有、生活機能の回復状況、生活不活発のリスクの把握 等
D	心疾患のある方のケアマネジメント	疾患の理解と確実な服薬、自己管理能力の向上とリスクの管理、療養を続けるための環境・体制の整備、心疾患の状況に応じた生活・暮らし方の支援、心理的な支援、疾患の理解と確実な服薬、自己管理能力の向上とリスクの管理、療養を続けるための環境・体制の整備、ステージに応じた生活・暮らし方の支援、心理的な支援 等
E	誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	誤嚥性肺炎の予防の必要性の理解、リスクの評価、摂食嚥下機能の支援、リスクを小さくする支援、誤嚥防止とリハビリテーション、変化を把握したときの対応体制の構築 等
F	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	看護サービスの活用が必要な事例・痛みの改善の取組・生活機能低下における対応・死の受容に関する事・緩和療法・葬儀に関する相談対応・遺品に関する相談対応・生きがいの実現・看護サービス利用について終末期の支援 等
G	家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	地域支援・社会資源と特徴と対応・社会資源との連携・社会資源介入と対応・地域特性と社会資源の関係・生活保護制度・成年後見制度利用・虐待事例 等

※持参いただきます指導事例につきまして、該当するものが無い方は、**受講決定後**、件名「介護支援専門員研修 主任更新 事例について」とし、空メールを事務局（nagasaki-caremanager@wish.ocn.ne.jp）までお送りいただきますようお願いいたします。